

## 「日本介護福祉士会

### 創立 30 周年お祝いメッセージ」

公益社団法人日本看護協会 会長

高橋 弘枝



公益社団法人日本介護福祉士会におかれましては、創立 30 周年を迎えられましたことに心よりお慶び申し上げます。貴会のこれまでの歩みは、我が国における介護保険制度の発展と、介護サービスの質の向上の歴史そのものといえます。貴会の皆さまが、国民の福祉の増進のために、実践者としての資質向上や介護に関する知識・技術の普及にご尽力されてきたことに心より敬意を表します。

少子高齢化が急速に進展していくなかで、介護サービスの利用者がさらに増大するとともに、高齢単身世帯の増加等により、ニーズが複雑化・多様化することが見込まれます。そのなかで、すべての人の尊厳が守られ、誰もが適切な介護を受けられる社会を維持していくために、介護の専門職である介護福祉士へ寄せられる期待は、ますます大きくなっています。

医療・介護の複合ニーズを抱えても、誰もが住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるためには、医療と介護がこれまで以上に連携を強化することが欠かせません。そしてその円滑な連携において、介護福祉士は重要な役割を果たされています。

地域で暮らしながらの治療・療養が主流となっていく時代、貴会と日本看護協会が協力・連携を図りながら、在宅・施設にかかわらず、対象者を中心とした尊厳と自立を支えるケアをともに提供してまいりましょう。

創立 30 周年というこの節目にあたりまして、貴会のますますのご発展と会員の皆さまのご活躍を祈念いたします。